

# 活動指導案

## ■基礎データ

① タイトル

フォーラム「《楓の風5》11. 17富雄の未来に」

② 活動の概要

富雄北小学校女子児童誘拐殺害事件を風化させない！鎮魂曲「レクイエム 楓の風」作曲発表とフォーラム開催

③ 目標・ねらい

富雄北小学校女子児童誘拐殺害事件発生から5年目を迎え、事件を風化させず更に意識を高め活動を推進することが、楓ちゃんに捧げるレクイエムである。参加者に感動を与え、初心に戻り初心を共有することが今後のためのエネルギーを生み出すことを期待し企画開催した。

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

①命の大切さを再確認、②子どもの見守り活動の継続(モチベーション維持)、③楓ちゃん事件を風化させない

⑤ 対象者(受ける側)

地域住民、保護者、学校教職員、行政関係(奈良市職員、市議会議員)、関係団体役員ほか350名

⑥ 活動・作業形態

フォーラム(①シンポジウム、②鎮魂歌「レクイエム 楓の風」演奏 等)

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

案内チラシ、報道資料、フォーラムのパンフレット等

⑧ 所要時間

準備期間 7カ月(2009. 6~2010. 1)

⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

実行委員会 委員10名 顧問5名

⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

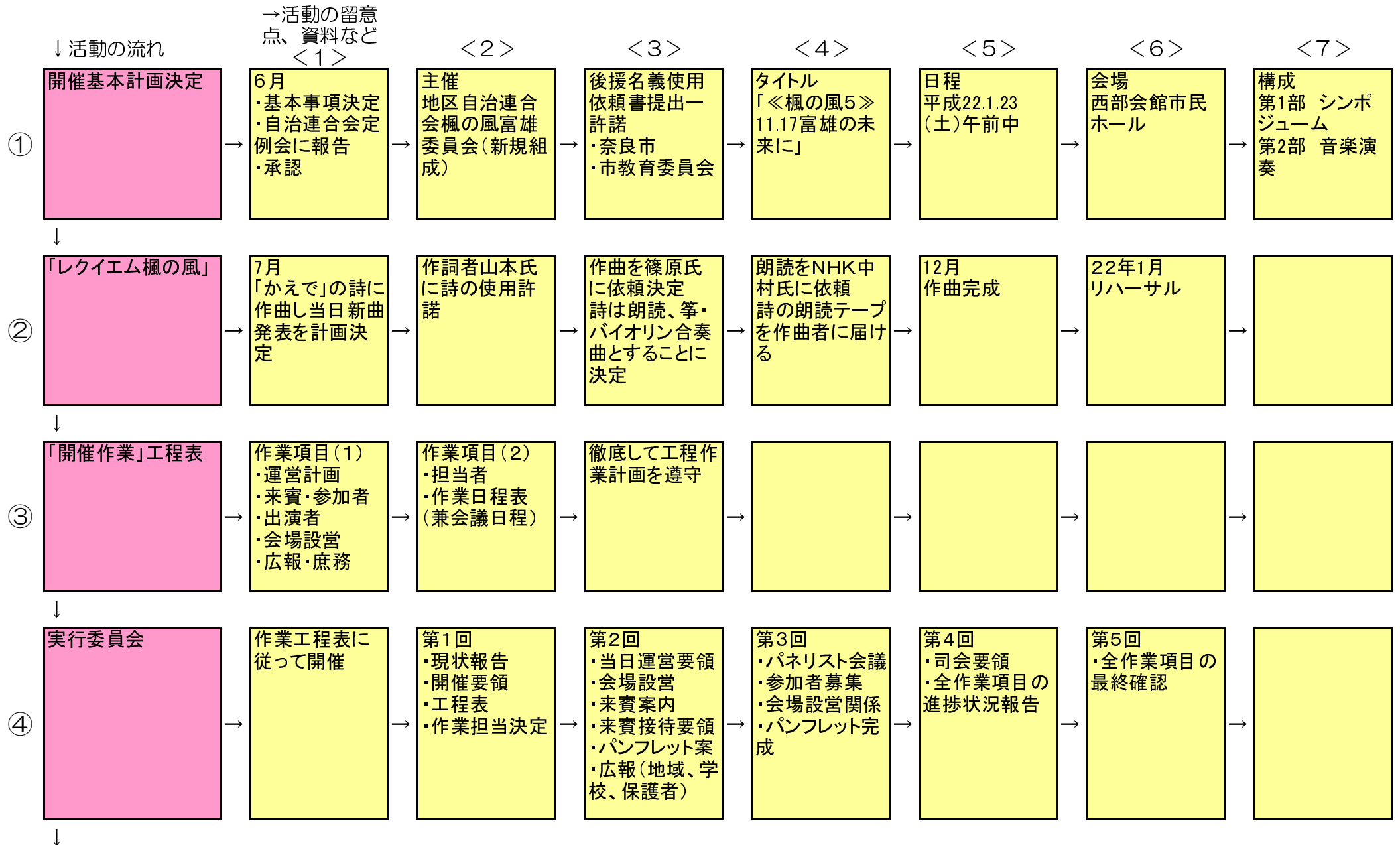
約40万円 地区自治連合会及び奈良市交付金

実践団体名 富雄地区自治連合会

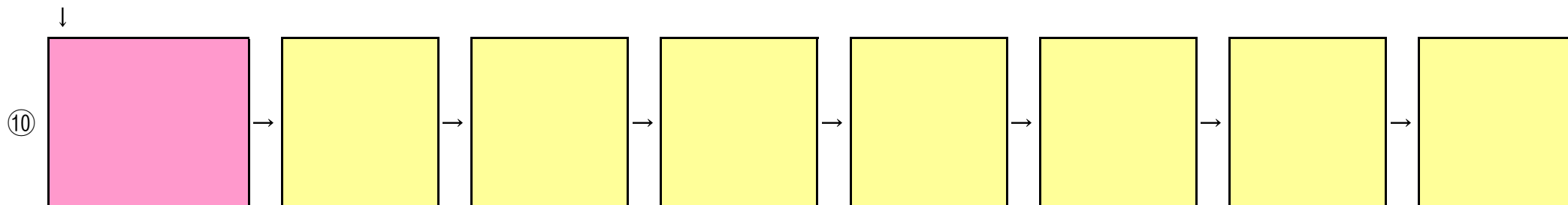
2009-1



## ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

- ①参加者350余名（会場定員300名を超える）
- ②市長をはじめ各界、行政、地域役員及び住民、教育関係者、保護者など、終了まで途中退席なし。

### ②その他の評価

- ①新聞各紙、NHK、奈良テレビ放送など、開催前後に大々的に取り上げ報道、開催趣旨を正確に報道
- ②新曲「レクイエム楓の風」の演奏には、多くの聴衆が涙を流す光景が見られた。

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

- ①開催趣旨・理念を明確にするとともに、周知徹底に努めた。
- ②リーダーの考え方や一旦決定した方針がぶれないこと。
- ③リスクマネジメントを事前に徹底検討し万全の態勢をとること。思いつきの変更は許さない。
- ④作業工程表の作業計画を全員が遵守し、遂行に遅延や乱れは許さない心構えが大切である。
- ⑤行政をはじめ関係先の協力を得られるよう「報告・連絡・相談」を密にすること。

### ②参考資料等

- ①開催計画 ②開催作業工程表 ③パンフレット ④富雄だより特集号 ⑤プレスリリース ⑥フォーラム記録写真(6枚) ⑦フォーラム記録CD(3枚)

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 奈良市富雄地区自治連合会



## ■基礎データ

2009-2

① タイトル

児童集団登下校見守り活動

② 活動の概要

ターミナル～学校間の通学路に於いて、ボランティア&保護者が付き添い・立哨方式により集団登下校児童の見守り活動を行います。

③ 目標・ねらい

- ① 子どもの安全確保と保護者の信頼に応える制度設計
- ② 全ての保護者が子どもの安全確保は困難な時代であり、地域が子どもを守り保護者の子育て支援が必要、また少子化対策でもある。
- ③ 学校教職員に郊外の安全確保は地域に任せ、児童の教育に専念することを期待した。
- ④ 活動によりふれあいを深め地域コミュニティを再生を図る。

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

- ① 地域教育力の向上
- ② 子ども達の成長(他への思いやりの心を育む、地域の人との交流)

⑤ 対象者(受ける側)

奈良市立富雄北小学校児童(平成21年4月現在850名)

⑥ 活動・作業形態

- ① ターミナル(保護者が担当)と立哨ポイント(地域ボランティアが担当)で、集団で登下校する児童の安全確認・確保・指導。
- ② 下校は、時間が高学年と低学年に分かれており、下級生は付添い見守り下校となる。

⑦ 準備するもの  
(道具、材料等)

ボランティア用ベスト(300着) 保護者用名札 教職員用腕章 児童が持つ集団毎のターミナル旗

⑧ 所要時間

立哨ポイントを通過する児童の見守り時間は概ね10分に設計、自宅から見守り場所(ターミナルまたは立哨ポイント)への往復時間等を加えると30分前後

⑨ 必要なマンパワー  
(実施者、役割、人数)

ボランティア登録人員 268名(平成21年4月現在) 保護者のボランティアは登録せず。

⑩ 必要経費  
(所要額、財源)

- ① 初期費用(ベスト他調達費)900千円
- ② 21年度予算300千円
- ③ 地区自治連合会支出金、奈良市地域活動推進交付金(自主防犯活動)

## ■活動の流れ





## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

現代子ども研究会アンケート調査結果より(2008.12実施)「保護者対象分」

- ① 安心感(90.5%)、子供同士の交流(87.9%)、犯罪の抑止効果(78.3%)、地域の協力を感謝(87.9%)地域との交流評価(69.5%)が高い。
- ② 子供が自身が身を守る能力をつけたほうがよい(81%)、学校生活をゆとりのないものに(39.4%)、寄り道ができない(35.2%)
- ③ 集団登下校は必要(66.9%) どちらとも言えない(22.8%)
- ④ 登下校体制について 現状で良い:登校(71.5%)、下校(60.7%)  少し改善が必要:登校(21.5%)  下校(31.4%)

### ②その他の評価

児童の手紙、文集に見る子どもの成長  
「他を気遣い思いやる心の成長」  
「安全と我慢」

## ■備考・その他(活動のコツなど)

### ①活動のコツなど

- ① 地域のリーダーは、地域住民に活動の目的、理念を明確に伝えること、そして方針がぶれないこと。
- ② 制度疲労に対する改善策を保持
- ③ ボランティア確保を常時意識
- ④ 役員の率先垂範
- ⑤ 地域諸団体の連携

### ②参考資料等

- ① 集団登校風景(開始当時&現在)
- ② システムのイラスト
- ③ 集団登下校・実施要領&資料
- ④ 集団登下校マニュアル(引率者用、保護者用、児童用)
- ⑤ ボランティア募集広報(富雄だより)

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 富雄地区子ども安全対策協議会



## ■基礎データ

2009-3

① タイトル

地域安全&地域防災マップづくり

② 活動の概要

- ① 親子で参加します。
- ② 自治会単位で参加者が、通学路及び周辺道路、空地・空家などを点検します。
- ③ 参加者は、保護者とその子供、自治会長、民生児童委員、地区福祉委員、地域安全推進委員、ボランティア、学校教職員などです。

③ 目標・ねらい

- ① 子どもの通学路及び公園等の安全確保。
- ② 同時に自主防災対策として、災害時の被災予測と対策、地域環境点検による改善対策を推進します。
- ③ 活動を通じてふれあいを深め、地域コミュニティの再生を進めます。

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

- ① 子どもの「危険予測能力と回避能力」の向上
- ② 作業過程の指導による「地域教育力」の向上

⑤ 対象者（受ける側）

幼稚園児、小学生、その保護者

⑥ 活動・作業形態

- ① 参加者が一体となって、子どもに対し危険個所の確認と回避訓練、安全マップの作成
- ② 子どもが自身で点検ノートに、危険個所、気づいたり感じたことを記入

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

点検ノート、住宅地図、カメラ、筆記具

⑧ 所要時間

2～3時間

⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

- ① 自治会役員30名、民生児童委員20名、ボランティア15名
- ② 企画立案・実施計画・学校に於ける炊き出しなど

⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

予算50千円 自治連合会支出

## ■活動の流れ



## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

- ① 子供と地域住民の安全意識の向上
- ② 子ども自身が、自分たちは地域で守られている、という意識が醸成されつつある。

### ②その他の評価

- ① 通学路及び自治会内の環境改善・・・改善個所を市役所に提出し改善実現
- ② 継続実施により地図の定期的更新

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

- ① 点検グループは、集団登下校のターミナルごとのグループを活用した。
- ② 参加者に事前学習が効果を高める。（かくれんぼの場所が結果として危険個所など「危険な場所」の概念を統一して認識させるなど）

### ②参考資料等

- ① 小宮信夫著「犯罪はこの場所で起こる」「地域安全マップ作成マニュアル」
- ② 奈良市安全マップ講習会

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

実践団体名 富雄地区子ども安全対策協議会



## ■基礎データ

2009-4

### ① タイトル

“命を守る”富雄食育推進事業  
A「食育フェスティバル」  
B「バケツ稲作り」

### ② 活動の概要

① 「食を通して明日を担う子供たちの健全な心と体を育んでいこう！」をテーマに、体験型イベント、学習会、講演会を開催。  
② 3カ年計画(19~21年度)

### ③ 目標・ねらい

① 楓ちゃんの命を失った地域として「命の大切さ」を、地域活動の柱としている。  
② 安全で安心な街であり続けるために、「命を大切にする人」になろう、「命を大切にする子供」を育てよう。

### ④ 活動で上げることが できる力・能力

食事の時間を大切にする。全ての生き物、作ってくれる人への感謝の気持ちを育む。

### ⑤ 対象者(受ける側)

幼稚園児、小学生とその保護者

### ⑥ 活動・作業形態

A「フェスティバル」 会場・富雄北幼稚園、屋外、屋内の両方に、テーマ別のブースを設置し、体験、講習、展示  
B「バケツ稲作り」 各家庭で、バケツで稲の蒔き~定植(田植え)~収穫~脱穀から精米まで ー児童の観察記録

### ⑦ 準備するもの (道具、材料等)

A フェスティバル 食材、調理器具、パソコン  
B バケツ稲作り バケツ、用土(農家から提供を受ける)、種籾(JAより無料提供)

### ⑧ 所要時間

A フェスティバ 5~6時間  
B バケツ稲作り 生育期間約5カ月

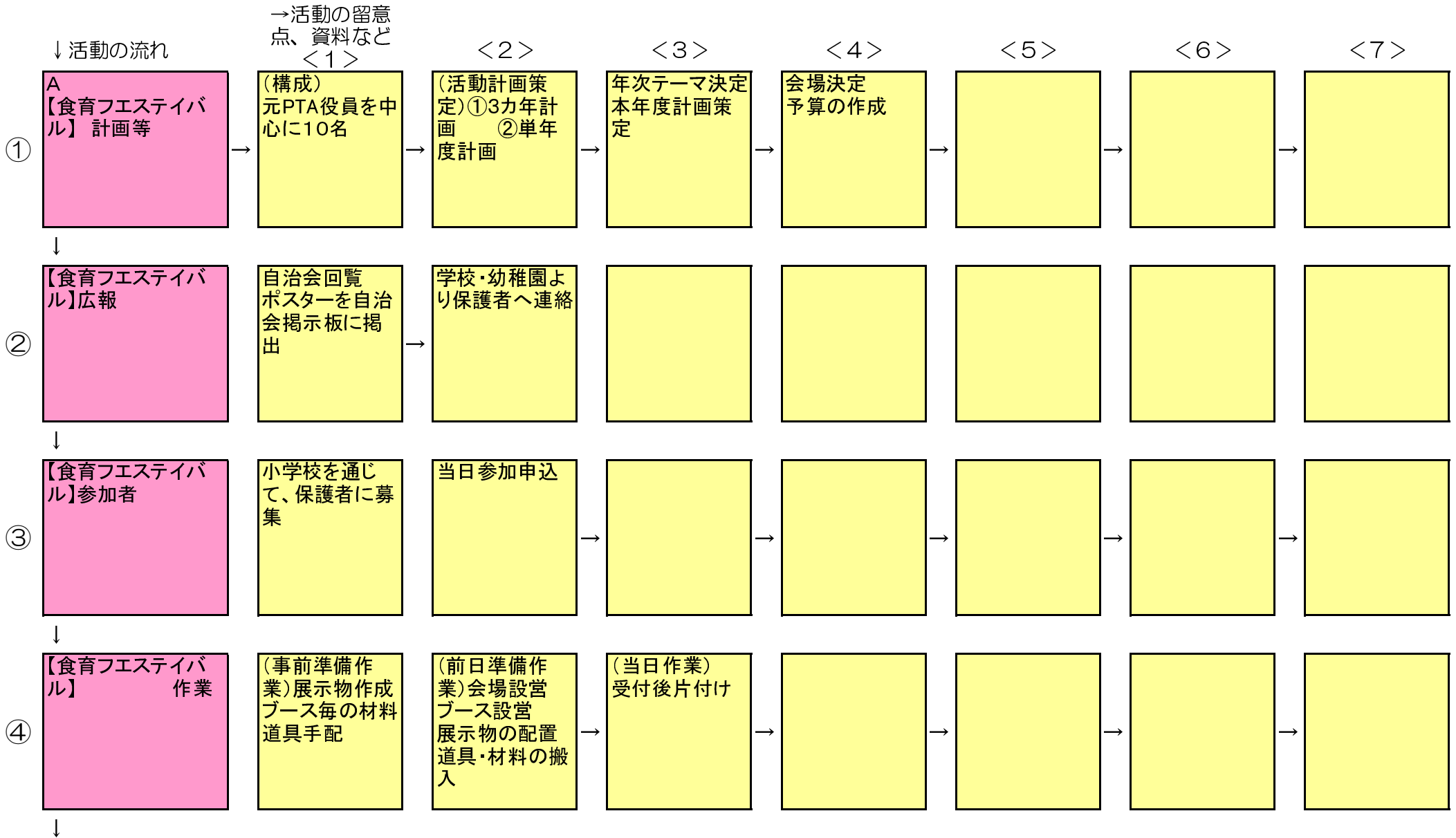
### ⑨ 必要なマンパワー (実施者、役割、人数)

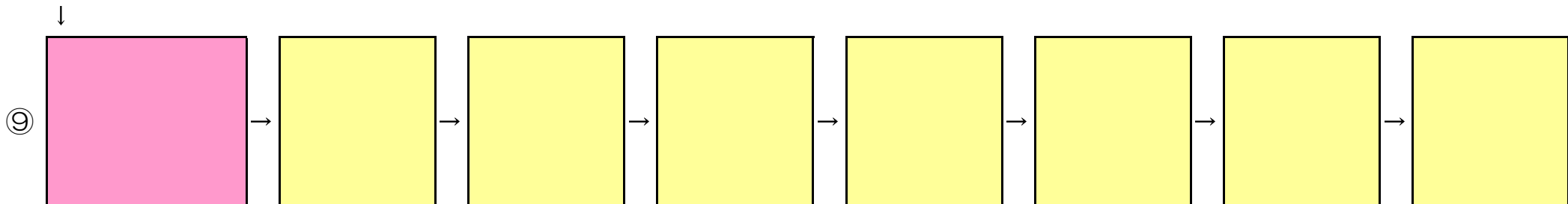
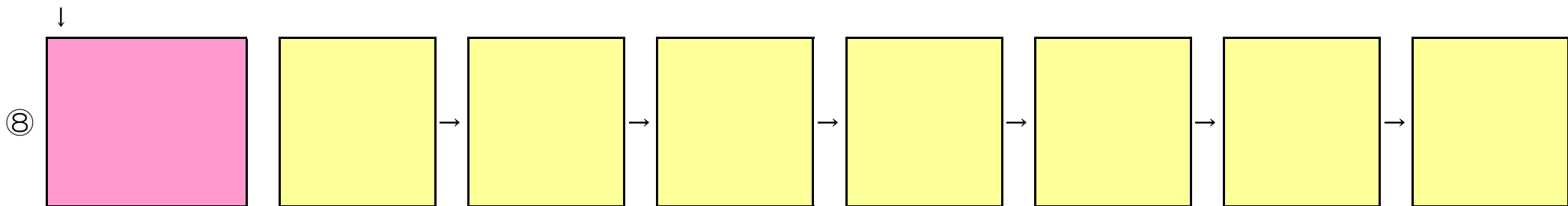
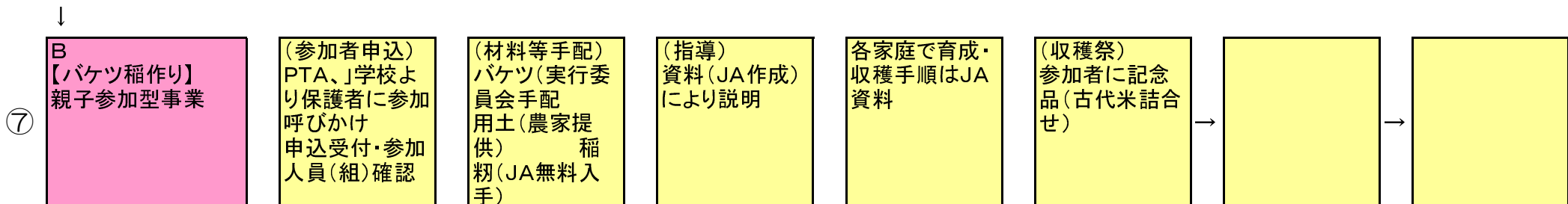
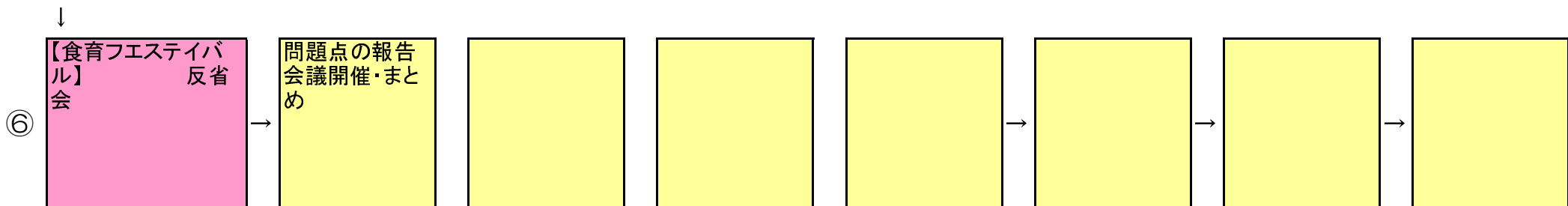
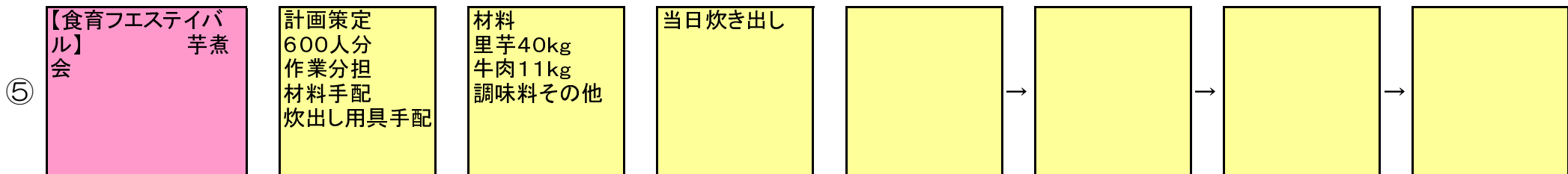
A フェスティバル 自治会役員、民生児童委員、PTA、ボランティア  
B バケツ稲作り 食育推進委員10名

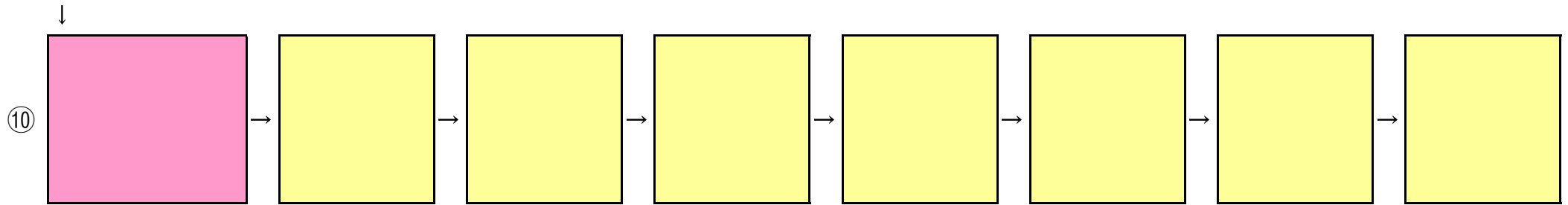
### ⑩ 必要経費 (所要額、財源)

A フェスティバル 予算10~20万円 自治連合会支出  
B バケツ稲作り 約5万円 自治連合会

# ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

参加者の増加 2007年 650名 2008年700名

### ②その他の評価

- ① 学校より「給食食べ残しの減少傾向」報告
- ② 「空き缶でご飯を炊こう」を同時開催、自主防災対策効果

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

- ① 刃物や道具の正しい使い方を教える（悪用してはいけないことも併せ教える）
- ② 昔家庭で当たり前だったことを体験させる

### ②参考資料等

- ① 梅田の「お米ギャラリー」の資料
- ② 坂本広子著「台所育児」

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

# 活動指導案

## ■基礎データ

実践団体名 富雄北小学校PTA子ども見守り隊



2009-5

① タイトル

PTAが紙芝居で安全教育

② 活動の概要

PTA有志で子ども見守り隊を組織し、①危機回避編 ②集団登下校を楽しくするために編 のオリジナル紙芝居を立案・製作。幼稚園と小学校の安全教育授業に参加

③ 目標・ねらい

子どもが自ら危険を予測し、適切な対応ができる力を具体的事例を通じて身につける。

④ 活動で上げることが  
できる力・能力

身の回りに潜む危険に対する予知能力と回避能力

⑤ 対象者（受ける側）

幼稚園児、小学生

⑥ 活動・作業形態

シナリオ、原画の製作

紙芝居の上演 クラス巡回

⑦ 準備するもの  
（道具、材料等）

木枠材料、ポスターカラー、画用紙、布、防水スプレーなど

紙芝居一式 人形、ペープサート

⑧ 所要時間

約3ヶ月

1回 約20分

⑨ 必要なマンパワー  
（実施者、役割、人数）

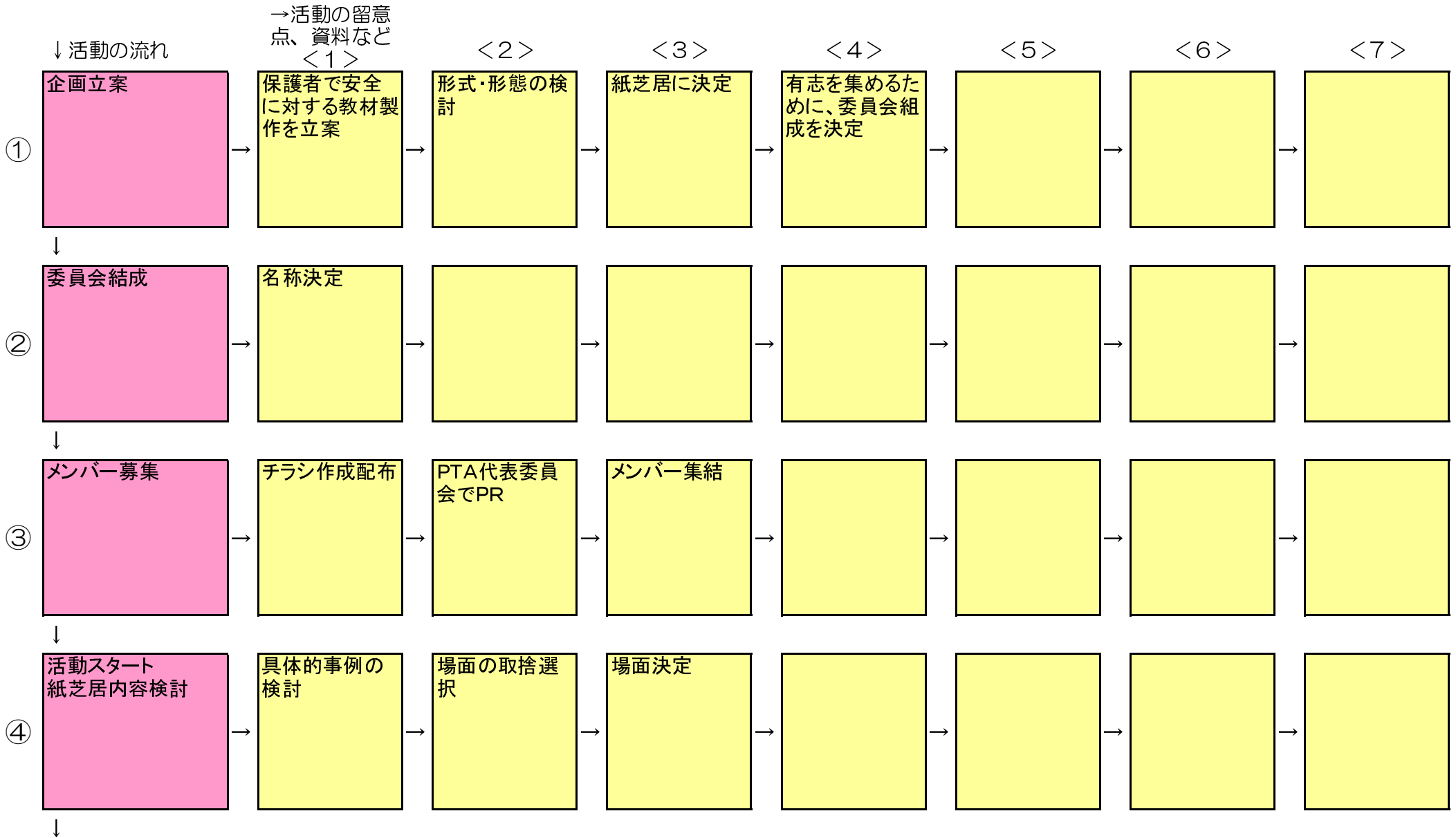
約20人

1回 6人程度

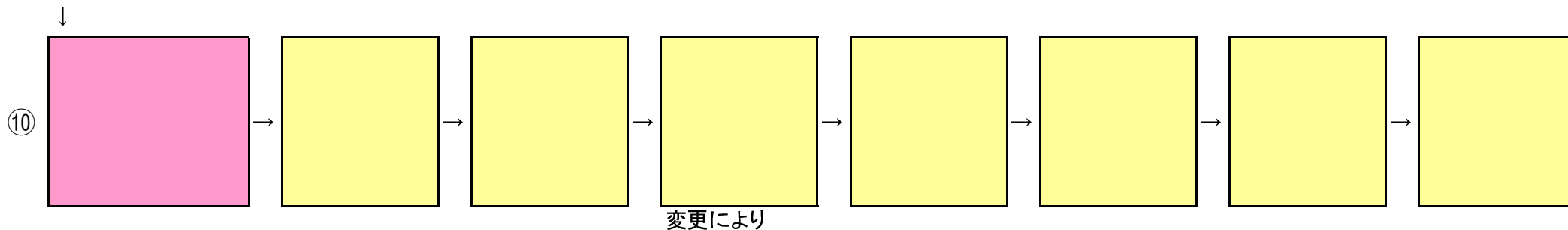
⑩ 必要経費  
（所要額、財源）

製作費用 約 30,000円

# ■活動の流れ







## ■活動の評価方法

### ①数や量の変化による評価

1. 上演クラスが増加
2. 年度が変わっても授業への参加が継続されていること
3. 委員会メンバーの増加

### ②その他の評価

集団登下校編では、集団登校時のマナーが向上（児童、教師の感想文）

## ■備考・その他（活動のコツなど）

### ①活動のコツなど

1. 子どもにとって身近な事例を取り上げること。（集団登校編では、その後システム変更に応じ、ストーリーを手直し）平易な言葉を使うこと。
2. 製作に当たっては、絵の得意な人、文章の得意な人に分担
3. 幼稚園や小学校で教員をしていた保護者に参加してもらえば上演がスムーズ。

### ②参考資料等

- ①写真2枚（紙芝居製作の様子、安全教育の様様）

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等